

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 2月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102542
法人名	社会福祉法人 愛心会
事業所名	グループホーム桜
所在地	鹿児島市下福元町9057 (電話) 099-210-8655
自己評価作成日	令和2年1月

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年2月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念の“みんなでゆっくりたのしく”を毎日出来るようにサポートし、安心して生活出来る様に心がけています。
年に4回家族の方にも参加して頂き外食などの季節行事を行い、入居者の皆様やご家族の方々に喜んで頂いています。
救急・急変時対応及び火災訓練等も日頃から話し合っています。
AED設置もしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、鹿児島市役所谷山支所から車で15分位の自然豊かな農村地帯に平成13年1月に開設されている。広い敷地に、同法人のケアハウスや在宅福祉の事業所と併設されており、近くには個人住宅等が点在している。園庭には桜の大木をはじめ多種の植物が植えられ、利用者は周囲の田畑等からも四季を感じながら平穏な日々を過ごしている。

開設以来、自治会に加入し地域との交流を大切に取り組みしており、地域の夏祭りや清掃活動等への参加やボランティア及び施設見学の受け入れ、家族や友人知人の来訪、周辺の散歩や外出時の挨拶や会話などの交流は利用者の楽しみとなっている。地域の人から寄せられる認知症ケアや高齢者福祉に関する相談には、専門性を活かして丁寧な助言に努めている。

管理者及び職員は、理念の「みんなで、ゆっくり、楽しく」に沿って、利用者のペースや思いを大切に地域や家族と触れ合いながら、笑顔に満ちた暮らしとなるような支援に努めている。入浴等の日課や余暇時間の過ごし方も、利用者主体の柔軟なケアに取り組んでおり、利用者及び家族との信頼関係が築かれている。

管理者は、職員との信頼関係や協力体制を大切に、日頃から気軽に言い合える雰囲気づくりを大切にしており、現場での業務にスタッフと一緒に従事しながら、意向の把握に努めている。出された意見や要望、個人的事情等に配慮しながら、ホームの運営や研修の実施、ケアへの助言・指導に努め、サービスの改善や働きやすい環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を見える所にはり常に意識付けでき、入居者の生活のケアに実践を心がけている。	法人の理念を基に作成した、ホーム独自の理念「みんなで、ゆっくり、楽しく」を掲示し、職員会議やカンファレンス時にスタッフ全員で意見交換して周知を図っている。日頃の業務の中や申し送り等でケアの振り返りや意見交換を行って、利用者のペースや心身の特性を尊重しながら、理念に添った支援の実践に取り組んでいる	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事、催し物に参加し、運営推進会議や苑の行事案内を行い民生委員さんに参加して頂き意見等をお聞きしている。	日頃の散歩や買い物、通院時には地域のひとと会話を交わし、町内会に加入して地域の清掃作業や夏祭り等に参加している。隣接のケアハウスの利用者の来訪や谷山中学生の職場体験、看護専門学校生の実習、ボランティアの受け入れ、農産物を頂く等の交流が図られている。また、認知症ケアや高齢者福祉に関する地域の人からの相談には、専門性を活かして丁寧な助言に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の行事に職員が参加して現状の話をして理解を深めている。職場体験、看護実習生の受け入れを行い認知症について説明している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の方の意見・要望を伺い、その都度よりよいサービスの提供が出来るように一つ一つ解決していき支援に努めている。	会議は、家族、民生委員、地域包括相談支援センター等が参加して定期的に開催しており、利用者の現状や行事計画、活動内容、ヒヤリハット等の報告を行い、委員からは地域の情報が出されている。多くの家族の参加が得やすいように開催を花見や外食などホームの行事の日に設定するなど工夫している。職員は会議の内容を議事録で共有してサービスの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故発生時には市へ届け、生保の方には家族の協力についても相談し現状を理解して頂けるように保護課との連携を密に行っている。	生活保護や高齢者福祉、介護保険の担当者とは日頃から電話や訪問で、ケアに関する事や各制度の相談を行って助言・指導をもらう等、協力関係を築いている。市主催の会合や研修会にも積極的に出席して意見や情報の交換を行い、介護相談員も受け入れて、サービスの向上に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設け毎月1回行われるカンファレンスで問題があるかどうかの確認をしたり、拘束についての勉強会（資料配布）を行っている。拘束をしないケア、見守り声かけを行い落ち着いた生活が出来るように取り組んでいる。	身体拘束や高齢者虐待については、計画的に研修（年3回）を実施し、委員会も毎月開催して、具体的事例による意見交換や日頃のケアの振り返りで理解と対応を共有し、拘束のないケアに取り組んでいる。日中は施錠は行わず、利用者の見守りや寄り添い、対話に努め、散歩に同行する等の工夫で安定を図り、自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は絶対にやってはいけない事と意識を持ちカンファレンスで勉強したり、外部の方を招き研修会を行い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は研修やカンファレンスで勉強会の一つとして取組み学んでいる。家族の方々には運営推進会議等で苑での取組みを説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者、計画作成担当者が、入居者様家族において説明、理解して頂いた上で契約して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設置し要望を取り纏めたり、又、運営推進会議や日々の面会時に要望・ご意見をお聞きしてその都度、職員が共有、反映できるように取組んでいる。	利用者の想いは、日頃の対話や表情、仕草等から理解に努め、家族からの意見、要望は来訪時や電話、家族会（年4回）、運営推進会議時に気軽に意見を述べて貰えるように工夫して把握している。出された意見等は申し送りや職員会議等で協議して運営やサービスの向上に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の朝礼の時間やカンファレンスにおいて疑問質問等があったら常に意見を交換して改善、業務に反映させている。	管理者は、日頃から声掛け等で話し易い関係作りに努めており、朝夕の申し送りや職員会議、個別面談、日常業務の中で職員の意見や提案を聞き取っている。また、個人的な悩みや事情も把握して運営やサービスの改善を図る等、働きやすい職場環境の整備に努めている。勤務シフトには可能な限り職員の意向を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有給休暇の推進により有給休暇が取りやすくなっている。管理者に何でも相談できる環境、職員間のコミュニケーションを図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修への参加・勉強会を開催し各自で参加出来るように取組まれているが、職員が増えるとより研修等に積極的に参加しやすい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修や勉強会に参加する事で意見交換の場が増えサービス向上に繋げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居者様の思い、要望などの傾聴し、家族からの情報を得て入居者様との関わりを密に接する事で信頼関係を構築する。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人様の様子を細めに家族に連絡取り話し報告コミュニケーションを取る事での信頼関係を築いて行く。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>多くの情報収集を行い、情報共有し必要なケアを考えていく。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一緒に食事をし、掃除、共に生活出来るように思いやり、入居者様の意志を尊重して安心して生活できる環境を作れるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何かあるとすぐに連絡し、月1回の家族への手紙で情報の共有し、家族に協力して頂きながら共に支え、安心して生活ができるように取組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	苑へ来て頂き面会や葉書・手紙を書いて頂き関係性が保てるようにしている。	入所前の生活状況や日頃の会話から、利用者毎の馴染みの人や場を把握し、希望に添って散歩や買い物、外食、一時帰宅、法事への参加等を家族と協力して支援している。家族や友人等の来訪時にはゆっくり過ごせるように配慮し、電話や手紙の取り次ぎ、「さくら便り」の送付や毎月の請求書にコメントを添えて近況を伝えるなど、関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様がお互いに話をされたりリハレクを一緒にされ作品を作られ完成される喜びを得てみんなでコミュニケーションが取れるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも訪問してほしい事を伝え、これからも関わり（相談）が取れるような関係性雰囲気を持つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様と会話することにより希望を聞いてサービスに生かすようにしている。	利用者の思いや意向を日頃の会話や表情、仕草等で把握し、その人らしい満足感のある暮らしを家族と連携して支援している。利用者の意向に沿って趣味（日記帳、新聞読み、家族への手紙他）や家事（洗濯物たたみ、お盆拭き等）の取り組みを、心身の状況に配慮しながら個別に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族より情報を得ながら本人様に話を聞き把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人1人と関わりをたくさんとり、観察を行い現状把握、情報を共有している。ご本人様の体調の変化や生活のリズムを崩さないように日々の生活を送って頂けるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医や訪問看護時に医療関係の話を聞いたり、職員間でも情報共有し話し合い最善の方法を考慮し作成している。	本人・家族の意向を把握し、主治医、看護師の指示やカンファレンスやモニタリング時の職員の意見等を反映した詳細な介護計画を作成している。介護日誌やケース記録、排便チェック表、申し送り等で利用者の状況を共有し、状態変化に応じて計画を見直して改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>1日の様子を介護記録として記入し朝の引継ぎで詳しく説明し共有してから仕事開始。職員間で見直しについても検討し対応する。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>1人1人の状態において介護内容を検討。ケアプランに沿ったサービス支援に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生員さんが苑の行事に参加して下さりコミュニケーションを取っている。また、地域の夏祭りや慰問行事に参加して楽しんで頂けるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>訪問診療、病院受診へと職員同行にて支援。週に1回の医療連携で何でも細かい事を相談して困っていることの状態を報告して対処して頂いたりアドバイスを受けている。</p>	<p>利用者が希望する医療機関での治療を継続しており、定期的な訪問診療や訪問看護、通院が実施されている。他科受診については家族の同行を基本としているが状況によりホームでも支援している。かかりつけ医とは密に連携して指導や助言を受け、また家族との情報交換にも務めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問介護にて血圧、爪切り、摘便、治療等の処置・体調等についての状況報告・相談しアドバイスを受け入居者様の支援に繋がっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>介護サマリーを記入し報告している。途中で様子確認の電話を病院の相談員と連絡したり面会へ行ったり家族との連絡で情報交換し関係に取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取り介護に関する指針を作成し、家族・先生・看護師・苑の職員と共通の認識をもち職員が一丸となってチームケアが出来るように取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては指針を整備しており、利用開始時に説明して利用者、家族の理解を得ている。重度化した時点で、家族及び主治医との十分な話し合いで方針を共有し、同意書を取り交わして可能な限り希望に添った支援に取り組んでおり、これまで1件の見取りを実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>AED設置を行っている。入居者様の急変時には家族、病院・救急車対応の勉強をカンファレンスで行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルに基づき年2回の訓練を実施している。消防署の方や地域の方にも参加して頂きアドバイスを受けている。</p>	<p>消防署の協力を得て、年3回夜間想定を含む防災訓練を、民生委員や隣接のケアハウスの協力を得て実施している。日頃から避難経路や連絡網を確認し救急救命やAED使用方法の講習、災害の報道をもとに意見交換を行って認識を高めている。雨量計やスプリンクラー、火災通報装置を設置し、ライト付きヘルメットや懐中電灯、ラジオ等を整備し飲料水や食料品を備蓄している。不審者侵入の対策にも留意し「さすまた」も備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライドを傷つけないように、年長者を敬う気持ち言葉遣いの声かけに十分気を付けて工夫している。	利用者の尊厳やプライバシーの確保については、研修の実施や日々の振り返り等で共通の理解に努め、排せつ時のケアや居室への入室、入浴、衣服交換時には、羞恥心やプライドに特に配慮する等、適切な支援に取り組んでいる。トイレは各居室に設置され、浴室等もプライバシーに配慮した構造になっており、台帳類は事務室で適切に管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望に少しでも近づけるように傾聴し自己決定できるように声かけしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	人間・その人らしさを尊重し、想いに応えることが出来るように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族の理解を得て定期的に訪問カットを行っている。日々洗面台で口腔ケア、整髪をして頂いている。髭剃りの介助も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事会、誕生日メニュー、季節行事メニューを取入れておいしく楽しく温かい食事が出るように努めている。入居者様にテーブル拭きや御盆拭き等のお手伝いをして頂いている。	栄養バランスや形態、好み、季節感等に配慮して一週間の献立を作成しており、利用者も一緒にお盆拭きや、もやし根切りなど食材の下処理を楽しみながら行っている。正月や敬老会等の行事食や、誕生日のリクエスト食、手作りのおやつ、家族との会食、ドライブによる外食など食事が楽しみなものになるよう工夫し、摂取状況も把握している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様に合わせた食事形態を提供（とろみ食、ミキサー食、きざみ食等）。水分も1日1200cc摂取を目安に声かけしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個人のADLに応じて、援助を行っている。声かけしてしっかりと理解をして頂いてからの対応をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレの声かけを耳元で行い、その人に合わせた声かけをしている。尿・便意のある方はその方のパターンに合わせトイレへの誘導を行っている。	利用者毎の習慣や排泄パターン、サイン、尿意の有無等を把握し可能な限りトイレでの排泄を支援しており、各居室にはトイレも設置されている。介護用品やケアの方法を介護計画に反映させて改善に努めており、おむつ軽減等の成果が見られている。便秘の予防に、植物繊維の多い食材や水分の摂取、運動量等に配慮し、主治医とも連携して改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表で排泄リズムのパターンを把握し、水分、野菜を多く取って頂けるように声かけし、身体を動かす事の声かけを行っている。また主治医に相談し下剤服用も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々のADL・体調に合わせて入浴を楽しんで、気持ちよかったと話して頂けるように心がけている。	足浴や清拭への変更も取り入れながら基本週3回の入浴を支援している。時間やシャンプー、温度、同性介助などは利用者の意向に沿って柔軟に対応し、入浴剤も利用するなど、ゆっくりと楽しめるように配慮している。入浴後は皮膚疾患の手当や水分補給を支援し、入浴をためらう利用者には、時間や職員の変更、声かけ等の工夫で利用者の意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の生活リズムに合わせて今までの生活習慣に基づき休息して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診ノートや薬情を見て理解・確認して誤薬がないように服薬支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に合ったリハレクを行っている。出来る事のお手伝いをお願いして、楽しく過ごせるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援は出来るだけ行うように計画している。また、ご家族にも協力頂いて外出される方もいらっしゃる。	平均介護度が3.8と重度化しているが、利用者の健康状態や天候等に配慮しながら、意向に添って周辺の散歩や隣接のケアハウスとの交流、ミニドライブ、一時帰宅等の外出を家族の協力も得ながら取り組んでいる。季節の花見やゾーメン流し、地域のイベントなどホーム全体での外出も、法人所有の車いす対応車を活用してリフレッシュを図っており、利用者の楽しみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の理解・協力を頂き金銭の保管は施設で行っている。入居者様の希望によりおやつ等購入頂けるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人様の希望にて電話したり手紙を出したりして頂いている。また、家族からの電話で本人様と話しされたり手紙も届いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日掃除を行っている。また、季節に応じた飾り付けをして居心地良く過ごして頂けるように工夫している。七夕・クリスマスの飾り付けは入居者様と一緒にしている。	ホーム全体がバリアフリーの構造で、高い天井で明るく、余裕あるリビングは開放感があり、季節の花や手作りの作品、イベント時の写真などが随所に飾られ、玄関には自在鉤やベンチも設置されるなど、和やかで季節を感じられるよう工夫されている。リビングには利便性に配慮してテーブルセットやソファ、テレビ等が配置され炊事の音や匂いも伝わって気持ちよく過ごせる環境になっている。清掃や室温、湿度、異臭、感染症対策の次亜塩素酸による消毒等に細かに配慮されて清潔感に満ちている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>席替えをしたり日向ぼっこができるような場所を作り、入居者様同士で楽しく過ごして頂けるように工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族と相談しながら、その方にとって大切な物を飾ったり、タンスを置きご本人様が使いやすいようにして頂いている。</p>	<p>明るく余裕ある居室はフローリングに腰高窓の仕様で、ベッドやエアコン、洗面台、トイレ、災害時のヘルメットが備えられ、意向を確認しながら加湿や換気、整理整頓を支援している。利用者は家庭同様に憩える暮らしとなるよう、使い慣れたテレビや寝具、家族写真、小物等を自由に持ち込み、また、自身の作品も飾って、その人らしい和やかな雰囲気となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室にトイレ・洗面台がありご自身で出来る事をして頂く。また居室を間違ったり迷ったりする方の為に目印を付けたり、名前・写真を付け1人で居室に戻るようにしている。またトイレに手すりを付け安心安全に生活を送れるように工夫している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない